

国際会議等各種会議の 北海道開催推進に係る取組

日本政府観光局（JNTO）

MICEプロモーション部

2023年7月

日本政府観光局（JNTO）とは？

組織概要

● **正式名称**：独立行政法人国際観光振興機構（国土交通省 観光庁所管）

※通称として「日本政府観光局」、略称としてJNTO（英文名称：Japan National Tourism Organizationの頭文字）を使用

● **国内拠点**：本部（東京）

● **海外拠点**：25事務所（ソウル、北京、上海、広州、香港、成都、バンコク、シンガポール、ジャカルタ、クアラルンプール、ハノイ、デリー、マニラ、シドニー、ロンドン、フランクフルト、パリ、ニューヨーク、ロサンゼルス、トロント、モスクワ、ローマ、マドリッド、ドバイ、メキシコ）

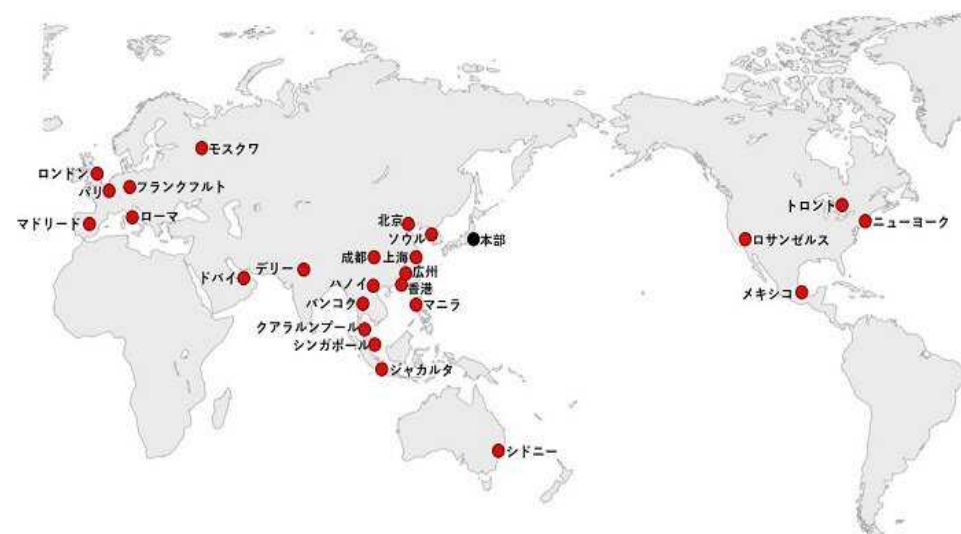
JNTOの活動

JNTOは世界25都市に海外事務所を持ち、各市場でのマーケティングやプロモーション活動を実施。

<主な事業>

- 訪日旅行市場に関する市場分析・マーケティング
- 海外現地旅行会社の訪日ツアー企画・販売の促進
- 海外現地メディアを通じた広告・宣伝
- ウェブやSNSを通じた訪日観光の情報提供
- 国際会議（MICE）の誘致・開催促進
- 受入環境整備・向上支援
（ビジット・ジャパン観光案内所の認定）

日本政府観光局のネットワーク



※ストックホルム（スウェーデン）の開設を準備中

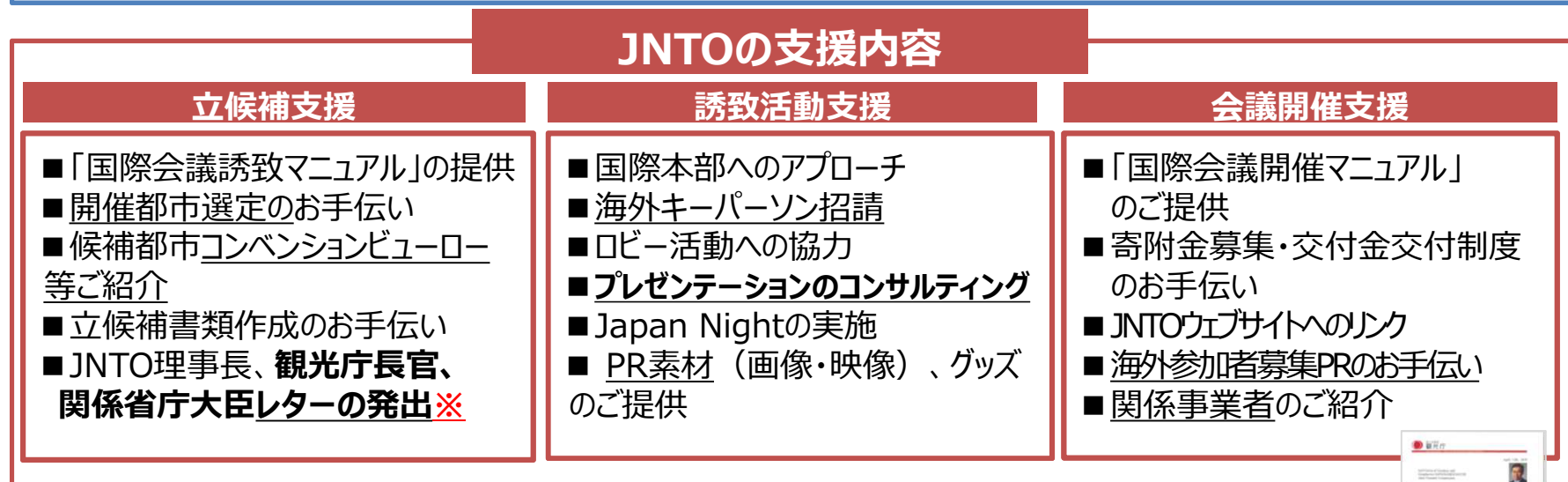
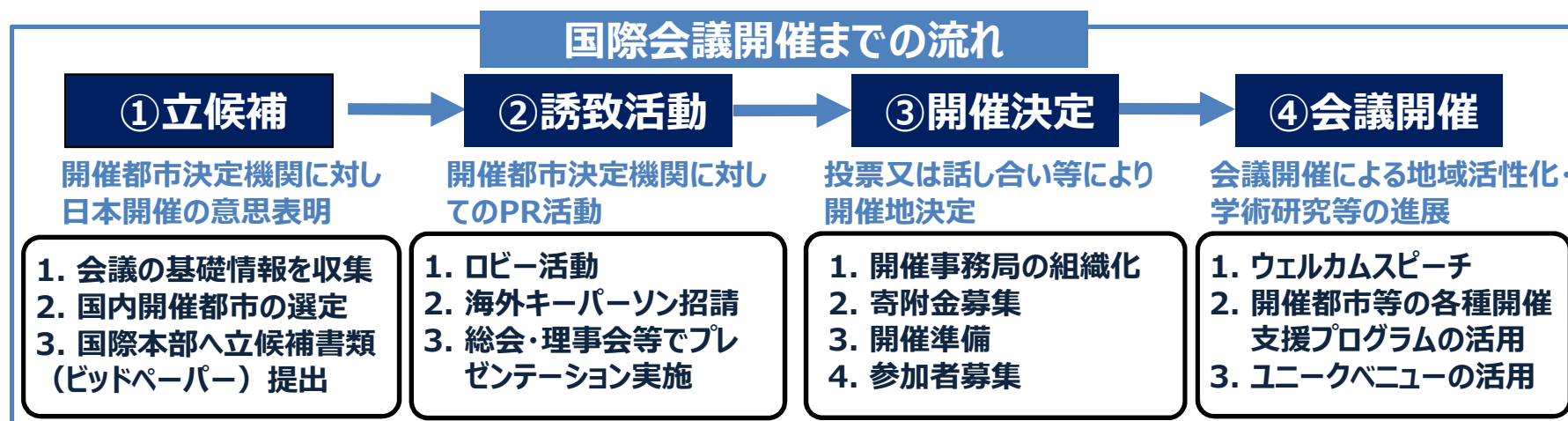
ニューヨーク、ロンドン、パリ、ソウル、シンガポールにMICE専門スタッフを配置

JNTOのMICE事業の5つの柱



5つの事業区分間の連携による総合的な誘致策の展開により、日本へのMICE誘致を推進

国際会議開催までの流れと支援内容



※ <事例> 第17回世界地震工学会議 (仙台市) 誘致の際に総理大臣、文部科学大臣、国土交通大臣、防災担当大臣、復興庁長官及び観光庁長官名のレターの発出

MICEアンバサダープログラム

産業界や学術分野において国内外に対し発言力やネットワークを有する方々を日本の「MICEアンバサダー」として認定し、MICEを戦略的に誘致する
 (2023年4月時点で全国に65名)



MICEアンバサダーの活動

- ・日本への国際会議等の誘致・開催に向けた促進活動
- ・国内における国際会議開催の意義についての普及啓発活動
- ・会議開催地としての日本の魅力を海外に向けて発信する広報活動

北海道のMICEアンバサダー

北海道大学 名誉教授
今井 一郎 先生



北海道大学大学院 情報科学研究院
坂本 大介 先生



アンバサダー・ネットワークの形成支援
「アンバサダーの集い」



北海道へのMICE誘致 支援事例

① Adventure Travel World Summit (ATWS)

誘致成功

日程：2023年9月

都市：北海道

参加予定者数：800人（うち外国人750人）

JNTOの誘致支援内容：

- ・ BIDペーパー作成サポート
- ・ 最終プレゼンテーションサポート
- ・ スウェーデン大会でのブース出展
- ・ JNTO理事長名の支援レター発出
- ・ ATWS会長・事務局長との意見交換会の設定

② 国際電波科学連合 (URSI) 総会

誘致成功

日程：2023年8月

都市：札幌

参加予定者数：1,200人（うち外国人500人）

JNTOの誘致支援内容：

- ・ 国内候補都市選定
- ・ 小林一哉先生（中央大学）アンバサダー就任
- ・ BIDペーパー作成サポート
- ・ 2017年モントリオール総会でのジャパンプース運営
- ・ 関係省庁等からの支援レター発出調整
- ・ JNTO理事長名の支援レター発出

③ 国際動物繁殖学会 (ICAR2026)

誘致成功

日程：2026年6月

都市：帯広

参加予定者数：800人（うち外国人500人）

JNTOの誘致支援内容：

- ・ 菊地和弘先生（農業・食品産業技術総合研究機構）のMICEアンバサダー就任
- ・ 関係省庁等からの支援レター発出調整（農水省、観光庁）
- ・ JNTO理事長名の支援レター発出
- ・ プレゼンテーション制作サポート

④ 第24回世界神経放射線学連盟シンポジウム (SNR2030)

誘致成功

日程：2030年

都市：札幌

参加予定者数：約1200人

JNTOの誘致支援内容：

- ・ 工藤與亮先生（北海道大学大学院医学研究院）、東美菜子先生（宮崎大学医学部）へのプレゼンテーション制作サポート

北海道へのMICE誘致 成功事例

第20回国際動物繁殖学会（ICAR2026）

開催地：帯広市（北海道）

競合国：中国

- 菊地和弘先生（MICEアンバサダー）と帯広畜産大学の宮本明夫先生が中心となって立候補

国際本部の視点

- ✓ 科学的なプログラムの充実しているか
- ✓ 開催地に当該分野に強い大学や産業があるか
- ✓ 受入側の学会の国際本部への貢献や連携度合

JNTOの支援内容

- ✓ ビッドペーパー（誘致の提案書）作成のコンサル
- ✓ 農林水産大臣、観光庁長官、JNTO理事長名の推薦レターの発出調整
- ✓ 最終プレゼンテーション（英語）の指導



2022年ボローニャ大会にて帯広開催が決定！

- 評価ポイント
 - ・ 日本繁殖生物学会が地元自治体をはじめとしたステークホルダー等と共に誘致活動を行った
 - ・ 長年にわたる国際本部に対する貢献
 - ・ 開催にあたっての日本チームのサポート体制

北海道のサステナビリティの取り組みについての発信

デジタルパンフレットの作成

- MICEのサステナビリティにおける日本の強み・特徴
- 国内15都市におけるサステナビリティの特徴および具体的な取り組み内容

対象都市：札幌、仙台、千葉、東京、横浜、富山、愛知・名古屋、京都、大阪、神戸、岡山、広島、北九州、福岡、沖縄

北海道におけるサステナビリティの取り組み例

- 雪氷熱利用を通じたCO2削減（雪を貯蔵し夏に冷房用で使用など）
- 自然体験だけでなく、現地の歴史や文化などのストーリーを重視したプログラムなど、多様なアドベンチャートラベルコンテンツ
- 札幌コンベンションセンターなどの環境に配慮した大型コンベンション施設（再生エネルギー使用）

SAPPORO ¹ Sustainable Japan: Initiatives and strengths in pioneering cities

札幌市は、北方都市特有の自然風土に加え、発信力豊かなアイヌ文化や食、温泉など、魅力的な観光・地域資源に恵まれている国内有数の観光都市である。地域の豊かな自然環境を保全し、次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市を実現するための決意として「環境首都・札幌」を宣言し、環境政策が推進されている。

全国人口	518万人	全国GDP	20.5兆円
札幌人口	197万人	札幌GDP	7.6兆円

SAPPORO サステナビリティに関する取り組み

MICEを通じた地域貢献活動

札幌では、大学や企業に連携した、MICE開催時の地域貢献活動プログラムが多く提供されている。

例えば、2019年の国際観光動物園学術会議では、地域の大学が協賛し、地域の学生が観光客の英語ガイドを務め、市街地に設置する野生動物標本などの地域資源について説明する場が設けられた。この機会を通じて、次世代を担う若手実業家の国際交流やネットワーク強化などの成果も上げ、若手でも地域の学術活動に貢献できている。

また、2019年には、地域で顕著な活動を行う札幌市環境教育の会と企業の協働による、企業向けの一環として賞状や表彰状を贈呈するプログラムが実施された。本プログラムの活用企業の中には、参加者が帰国後に自国の保全に関心を持つなど、効果が表れている。

食料自給率日本一の都市で進む 農林水産業の産官学連携研究

農業生産額、水産漁獲量が日本で、食料自給率217%（カロリーベース）を誇る日本産産では、多岐にわたる食料を地産地消するところである。北海道は食料生産量の多い産地であり、地産地消が推進されており、産官学連携による農林水産分野の研究も進んでいる。

その中心的存在を担う北海道大学では、食のウェルフェアの観点から食料の「口」に「心」を掛け、食料の生産から消費までが図解され、消費者への理解、食のイノベーションの創出、地域に伝わる食文化の継承が図られている。北海道大学は、The Times Higher Education「インパクトランキング2022」で世界第10位に、英ケンブリッジ2022 産学連携分野で世界第10位にランクインしている。

雄大な自然と豊かな文化を軸とした アドベンチャートラベル

札幌市・北海道では、豊かな自然環境や、発信力豊かなアイヌ文化の継承、食や温泉といった地域資源を活用したアドベンチャートラベルのコンテンツづくりが進められている。MICE参加者向けのワークショップなどのプログラムとしての提供も提供されている。

道庁は、アドベンチャートラベルに関する取り組みを推進するプラットフォームとしてアドベンチャートラベル・ワールド・サミット(SAW)2021、2023の開催を推進。サミットとは、地域社会への社会的・経済的価値や環境・文化遺産への持続的観光化、食の分野での食文化の継承など、北海道でアドベンチャートラベルを推進していく。食・酒・アパレル・ファッションの活用や観光や公共交流の利便性など、多岐にわたるサステナビリティの取り組みが行われている。

また、道庁では、自然環境だけでなく、現地の歴史や文化などのストーリーを重視したプログラムと、多様なアドベンチャートラベルのコンテンツが提供されている。例えば、アイヌ民族の伝統・歴史・文化を学ぶツアーや食体験、文化施設ツアー、道庁直営と併行して民間の力で提供する民間の自然体験や文化体験プログラムにも、観光・地域の振興を目的とした体験アクティビティが取り入れられている。

**MICE専門ウェブサイトへのコンテンツ追加
見本市におけるセミナー、SNSやオンライン広告等で情報発信**

北海道におけるMICEコンテンツの紹介 (SNS)

JNTOの英語SNS (LinkedIn) において、北海道のMICE関連のトピックスを紹介

北海道の食材を使用したチームビルディング・クッキング

- ・インプレッション：1,352件
- ・エンゲージメント率：9.17%



- ・インプレッション：投稿が画面に3秒以上表示された回数
- ・ユニークインプレッション：投稿がユニーク(ログインしている)メンバーに表示された回数
- ・エンゲージメント数：クリック、いいね、コメント、シェアの総数
- ・エンゲージ率：エンゲージメント数をユニークインプレッションで割った数値

SNR2030札幌誘致成功

- ・インプレッション：1,794件
- ・エンゲージメント率：8.53%

JNTO – 国際会議誘致・開催支援
12,693人のフォロワー
10ヶ月前

We are pleased to announce that the 24th World Symposium of the World Federation of Neuroradiological Sciences: SNR (Symposium Neuroradiologicum) XXIV 2030 will be held in Sapporo ([Sapporo Convention Bureau](#)) Japan.

Team Japan, led by Prof. Kosuke Kudo and Prof. Minako Azuma, submitted a presentation to the International Headquarters. This was highly evaluated and resulted in a successful bid to secure Sapporo, Hokkaido. The event expects to attract approximately 1,200 participants globally. In fact, this will be the first time in 36 years that it will be held in Japan. The previous time being the 15th meeting of SNR (Kumamoto, 1994).

We look forward to...

<https://lnkd.in/g/...>

#snr2030 #s #meetingsan

Why Japan?
SNR is one of the largest societies of neuroradiology in Asia.
• More than 820 members
• Diversity of members
➢ Neurologists (60%), neurosurgeons (28%), neuroradiologists (4%), pediatricians and others (2%)

SNR hosted a successful meeting of SNR XV in Kumamoto (1994) by President Mutsumasa Takahashi. After 26 years, we are once again proposing Japan as a destination for SNR (Sapporo, Hokkaido).

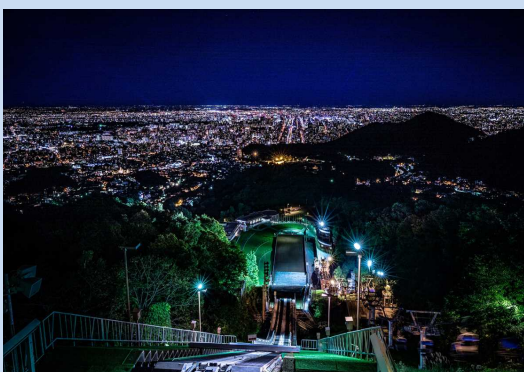
北海道におけるインセンティブツアーコンテンツの紹介

JNTO MICEウェブサイトにてインセンティブ旅行に使えるコンテンツを紹介

芸森W-Awesomeでのアイスバーパーティ



大倉山ジャンプ競技場でのチームビルディング



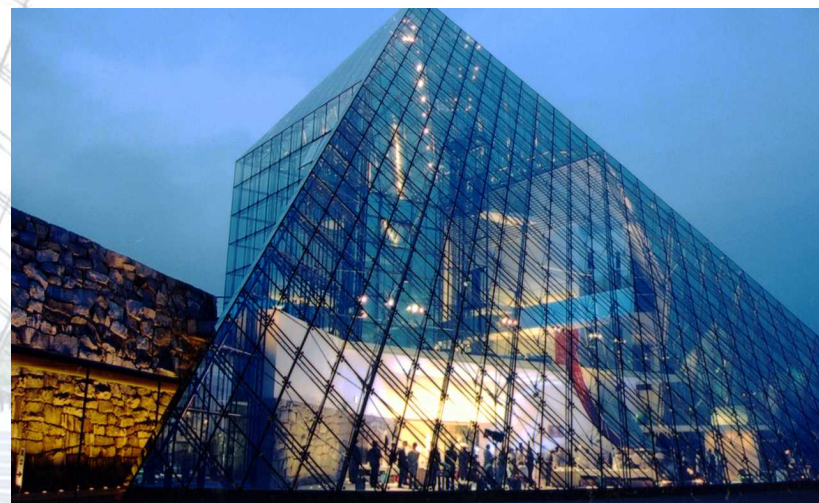
英語/・中国語（繁体字/簡体字）/韓国語/ベトナム語/タイ語の6言語にて提供

北海道におけるユニークベニューの紹介

JNTO MICEウェブサイトにてユニークベニューを紹介

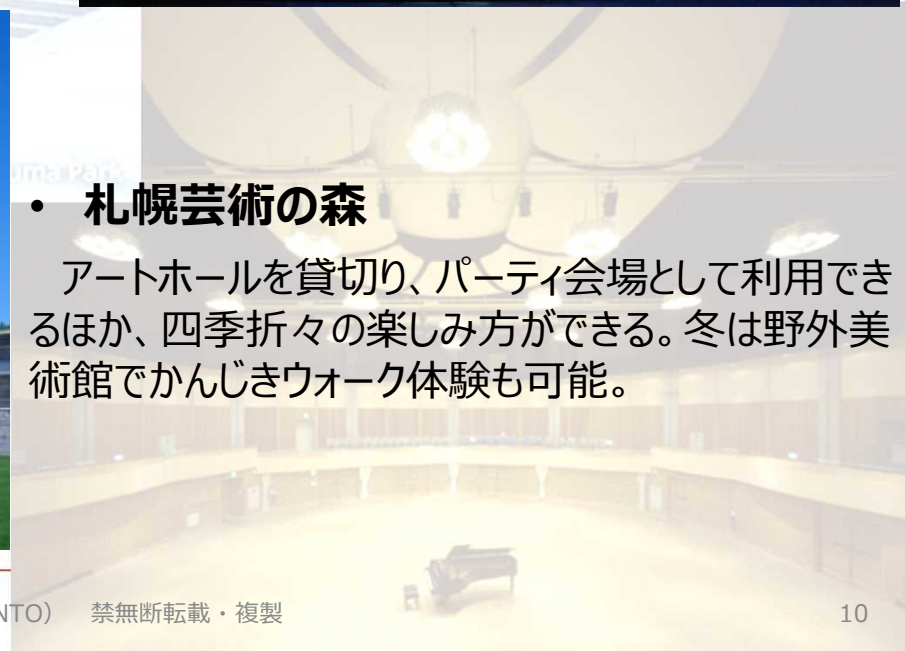
・ モエレ沼公園

公園のシンボルであるガラスのピラミッドはレストラン、ギャラリー、視聴覚機器を備えた会議室、展示会場なども入った複合的な屋内施設になっており、MICEの会場として使用可能



・ 札幌芸術の森

アートホールを貸切り、パーティ会場として利用できるほか、四季折々の楽しみ方ができる。冬は野外美術館でかんじきウォーク体験も可能。



JNTOをご活用ください。

お問い合わせ : convention@jnto.go.jp

WEBサイト : <https://mice.jnto.go.jp>



Japan. Meetings & Events
New ideas start here

